

平成29年度柏南部第2地域包括支援センター事業評価結果の概要

◎:水準以上の成果 ○:ほぼ水準どおりの成果 △:やや水準を満たさない ▲:水準を満たさず改善を要する

大項目	運営体制										総合相談支援業務				権利擁護業務					包括的・継続的ケアマネジメント支援業務				認知症総合支援事業					介護予防ケアマネジメント業務及び指定介護予防支援業務				一般介護予防事業				
	①事業計画	②職員配置	③3職種の連携・チームアプローチ	④職員の資質向上	⑤個人情報保護	⑥苦情対応	⑦24時間体制の確保	⑧公正・中立性の確保	⑨報告・届出書等	⑩建物設備等	①センターの周知	②ネットワークの構築	③地域の実態把握	④相談対応	①成年後見制度の活用と普及啓発	②高齢者虐待への対応	③多問題事例への対応	④消費者被害の早期発見と防止	⑤サービスや仕組みの活用	①関係機関との連携体制の構築	②介護支援専門員に対する支援	③地域の課題解決への取り組み	④多職種協働によるネットワークの構築	①普及啓発の促進	②認知症サポーターキャラバン事業の推進	③認知症の人の家族への支援	④早期診断・早期治療への支援	⑤見守り体制の構築	①適切な介護予防ケアマネジメントの実施	②公正・中立性の確保	③適切な業務の実施	①介護予防事業対象者の把握・支援	②介護予防・フレイル予防の普及啓発	③介護予防教室の実施	④地域の介護予防活動の育成支援		
小項目	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
自己評価	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
行政評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△

【講評】
<運営体制>
 ・退職者はあったが、1か月後に補充されている。
<総合相談支援業務>
 ・地域の実態を把握し、情報把握を行い、市民に対応はしていたが、計画していた資源マップの作成には至らなかった。
<包括的・継続的ケアマネジメント支援業務>
 ・医療・介護連携として、他の包括支援センターとの協働により、他職種による事例検討会を実施してネットワークの構築を図った。
<認知症総合相談支援事業>
 ・認知症の相談や家族支援は、総合相談業務や介護者交流会を通じて実施しており、認知症初期集中支援チームに複数事例が繋がり、支援を実施していたが、かしわオレンジフレンズの協力体制が少ない状況だった。
<一般介護予防事業>
 ・介護予防教室の普及啓発や実施をしていたが、地域の介護予防活動支援のためのサロンの情報収集や包括外講師の派遣となることがあり、包括からの積極的な介護予防の提供や育成支援が少なかった。
【支援方針】
 ・地域への発信方法や経験の少ない医療職を支援することにより、認知症総合支援事業や一般介護予防事業の推進を目指す。